

令和5年度地域スポーツクラブ活動体制整備事業 運動部活動の地域移行に向けた実証事業 成果報告書（概要）

鳥取県

●地域における現状・課題

県は令和5年8月に「鳥取県公立中学校等における部活動の地域連携・地域移行に向けた推進計画」（以下「推進計画」という。）を策定した。これを受けて各市町村は、協議会の設置や市町村の推進計画の策定等を行い、生徒が継続的にスポーツ（・文化芸術）活動を実施できる機会や環境を確保するとともに、教員の負担軽減につながる取組を進めている。県内において部活動に代わる活動を担うことができる地域スポーツ団体、指導者等が少ない状況であり、多くの市町村（学校）において地域連携として生徒の活動機会、環境を確保しており、直ちに地域移行を行うことは困難な状況である。

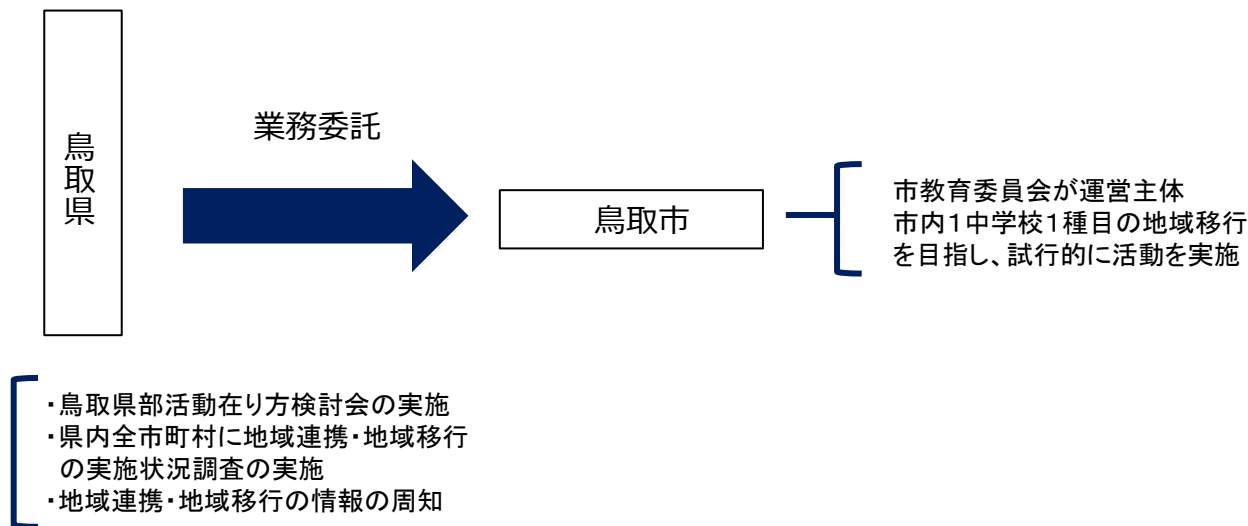
●取組事項の概要

- 県統括コーディネーターの配置
- 地域連携・地域移行に係る県推進計画の策定に向けた市町村との意見交換、指導助言等
- 指導者の確保及び資質向上に向けた研修会の実施（県スポーツ協会との共催）
- 県部活動在り方検討会における関係団体、関係者との連携
- 地域クラブ活動における参加費調査

●取組の成果、特に工夫した点等

本県は他県に比べ、市町村や学校が少なく、状況が把握しやすい。そのため、全市町村を訪問したり、実態調査等を行ったりしながら全市町村の実状や要望等を把握し、地域移行に係る県の推進計画を策定した。「伴走型」で市町村とともに課題等を共有し、実状に合った取組を実施することで地域移行を進めている。

●運営体制図



令和5年度地域スポーツクラブ活動体制整備事業 運動部活動の地域移行等に向けた実証事業 成果報告書（概要）

鳥取県鳥取市

●地域における現状・課題

生徒数の減少に伴い、部員数が減少して単独校でチームが組めなかったり、休部や廃部になって生徒の希望する競技ができない現状がある。また、生徒数の減少に伴い教員の定数も減少する状況下で、複数の顧問で部活動を指導したり、交代しながら指導することは非常に難しく、生徒の充実したスポーツ環境を確保していくのは困難な状況である。学校や地域の実情に応じた地域移行の在り方について検討することや、休日に指導可能な指導者を確保すること等が課題である。

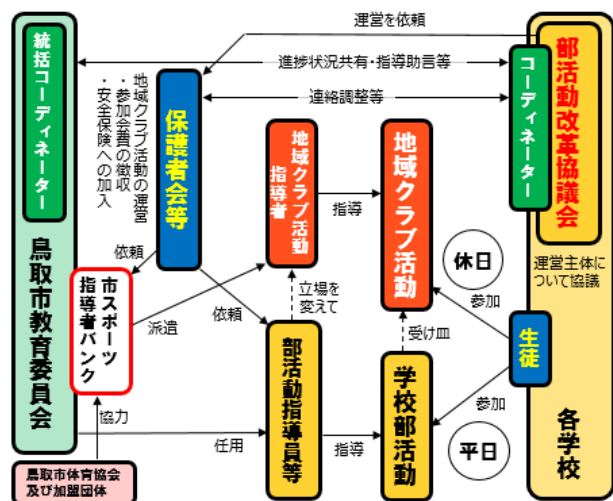
●取組事項の概要

- 市教育委員会事務局学校教育課内に統括コーディネーターを配置する。
- 各学校にコーディネーターを配置する。
- 拠点校（鹿野学園）において試行的な地域クラブ活動を実施する。
- 市スポーツ指導者バンクを設置する。

●取組の成果、特に工夫した点等

- 統括コーディネーターが全17校を訪問した（各学校3回、その他必要に応じて）。学校や地域の実情、進捗状況や課題を共有し、指導助言等を行った。
- 学校教育に理解があり、かつ、地域とのつながりがある人材をコーディネーターとして全17校に配置した。
- 試行的な地域クラブ活動に参加した生徒（15名）の80%が「満足」「やや満足」と回答した。
- 市スポーツ指導者バンクを令和5年11月に設置した。令和6年2月末時点で7名（卓球5名、バレーボール1名、剣道1名）の登録があった。
- 試行的な地域クラブ活動における指導は、当該部活動の部活動指導員を務めている者に依頼した。
- 試行的な地域クラブ活動時の学校体育館の開閉は、学校施設開放事業に係る学校体育施設スマート予約システムを利用して行った。

●運営体制図



●地域クラブ活動の概要（代表的な取組例）

- (1) 運営類型：市区町村運営型（地域団体・人材活用型）
- (2) 運営主体：試行的に鳥取市教育委員会
- (3) 種目：バレーボール
- (4) 指導者の主な属性：部活動指導員
- (5) 1か月あたりの平均的な活動回数：試行的に2回
- (6) 主な活動場所：鹿野学園体育館、鹿野町農業者トレーニングセンター
- (7) 主な移動手段：徒歩
- (6) 1人あたりの参加会費等（年額）：試行的な実施のため参加会費等なし
※指導者謝金（1,600円/時間）は市が負担
- (7) 1人あたりの保険料：生徒800円/年 指導者1,850円/年
※試行的な実施のため保険料は市が負担